

特典⑨：「学級開き」45分設計・準備チェックリスト

学級開きは「イベント」ではなく、1年間の「設計図」を示す場です。

子どもと保護者が「この先生なら安心だ」と確信する45分間を遂行するためのチェックリストを用意しました。

1. 【前日まで】「期待と安心」を仕込む準備リスト

子どもが教室に入った瞬間、大げさかもしれませんが、勝負は始まっています。「準備されている」という事実が、子どもに安心感を与えます。

- ☐ 黒板メッセージ：短く、温かい歓迎の言葉。
- ☐ 座席配置と名札：整然と並んだ机と、自分の居場所を示す名札。
- ☐ 配付物のセット化：配付物は、机の上に整然と積み上げておく。
- ☐ 担任クイズの作成：自己紹介を「観察」に変えるための仕掛け。ICT活用。
- ☐ 「軸（キーワード）」の掲示物：決めた言葉を視覚化しておく。習字が得意なら、ちょっとしたパフォーマンスとして、その場で書いてもOK！（私はやっていました）

2. 【当日の45分】タイムテーブル構成案

子どもの心の動きに合わせた「テッパン」の流れです。

時間	ステップ	内容と狙い
00-10分	アイスブレイク	担任クイズ等。心をほぐしながら、子どもの反応を「観察」する。
10-25分	担任の語り	1年間の「キーワード（軸）」を提示。先生の「願い」を届ける。
25-35分	クールダウン	「チャンスの神様」等の話。静寂を作り、「聴く文化」を耕す。
35-45分	事務作業	教科書配付等。テキパキと指示を出し、「頼りがい」を示す。

3. 【AIプロンプト】黒板メッセージ・自己紹介案を作成する

先生の「軸」に合わせて、子どもに響く言葉選びをAIがサポートします。



【AIへのコピー用プロンプト】

以下の条件に基づき、学級開きで黒板に書く【ウェルカムメッセージ】と、3分間の【担任の語り】の原稿を作成してください。

■ 前提条件

- ・ 学年：[例：小学5年生]
- ・ 私のキーワード（軸）：[例：挑戦]

■ 作成のルール

- ・ メッセージ：黒板に書いても圧迫感がなく、子どもが「明日も来たい」と思う温かさ。
- ・ 語り：威圧的にならず、でも「この先生はブレない軸がある」と信頼されるトーン。
- ・ 「チャンスの神様」の話のように、子どもの心に火をつける比喻を一つ盛り込むこと。

4. 活用のアドバイス：初日の「観察」こそが最大の資産

この45分間、先生が最も意識すべきは「自分がどう見られるか」よりも「子どもをどう見るか」です。

- ・ クイズで一番に手を挙げる子は誰か？
- ・ 静かに見守っている子は誰か？
- ・ 教科書を配るとき、手伝う子は誰か？

このチェックリストに沿って「型」を安定させることで、先生自身に余裕が生まれ、こうした「**子どものサイン**」を拾う余裕が生まれます。ここも大事なポイントです。それが今後の「仕組み化」と「危機管理」に繋がっていきます。